

女子40キロ級 小柳(北島) 3位 女子57キロ級 小畑(生光学園)

四国4県を舞台に開かれている全国中学校体育大会(全中)第3日は19日、鳴門アミノパリュウホールなどで7競技が行われた。徳島県関係は柔道女子個人で40キロ級の小柳(北島)と57キロ級の小畑(生光学園)が共に初戦の2回戦から勝ち上がり、準決勝で敗れたものの3位入賞した。48キロ級の近藤わかば(生光学園)、70キロ級の渋谷海(生光学園)と藤本涼帆(阿波)は、いずれも8強に進出しながら準々決勝を突破できなかった。



第3日



生光学園・渋谷海(女子) 70キロ級で5位入賞した



生光学園・近藤わかば(女子) 48キロ級で5位入賞した

一瞬の気の緩みから片襟を取られて投げられた。最初からもうっと集中し、ガツガツやっていれば勝てたかもしれないと悔しい。3年になる来年の全中では日本一を目指す。



女子57キロ級準決勝 積極的に技を繰り出す生光学園の小畑(右) (立花善晴撮影)

延長の末 僅差で涙のむ 小畑

中学最後の夏は、紙一重の戦いが続いた。女子個人57キロ級で3位に入った生光学園の小畑は、初戦の2回戦から3試合続けて僅差で勝ち上がり、準決勝は延長の末に僅差で涙をのんだ。「このまま終われないよ。3年間やってきたことを出し切ろう」。2日前の団体戦で8強入りを逃した小畑主将らに山崎監督は言った。その言葉を胸に、後手に回った団体戦の悔しさを晴らそうと個人戦の畳に立った。初戦から強気で立ち向かい、積極的に投げる持ち味を見せた。だがリードを奪うとつい守勢に回ってしまった。準々決勝に続いて準決勝も延長戦に拮抗(きっこう)した展開で投げる姿勢を示せず指導を受けて敗れた。「もっと掛けていれば勝てた」と悔しがった。津田小5年で全国8強に入り、より高みを目指して生光学園に進学。部の練習は一日も休まず努力を重ね、小学生時代の記録を塗り替える4強入りを果たした。頂点に立つ夢は高校に持ち越す。「インターハイで日本一になる」。(秋月悠)

Table of tournament results for various judo categories including 柔道 (Judo), 女子40キロ級 (Women's 40kg), and 女子57キロ級 (Women's 57kg), listing participants and their performance status.